

# 令和4年度事業計画

## 《基本方針》

公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会は、本県の障がい者スポーツ統括団体として、加盟団体と協力しながら障がい者の心身の健康の保持増進や社会参加を促進し、スポーツを通して幸福で豊かな営みを支援するとともに、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に寄与することを目的としている。

このため当協会では、さらなる公共性や透明性の確保に努め、障がい者スポーツの普及と振興、障がい者スポーツに対する県民の各界各層の応援や支援の輪を広げる必要がある。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない状況ではあるが、感染防止対策を講じながら多くの人が安全にスポーツに親しみ、楽しむ機会を確保できるよう、当協会事業の計画的実施を図るとともに、加盟団体や関係者に対し的確な情報提供及び感染症対策に関する支援を行っていく必要がある。また、大勢が参加する大会や行事のみならず、家庭や地域、学校、職場で日常的に体を動かし健康づくりができる機会を拡大する取組も重要である。

さらに、昨年の2020東京パラリンピック競技大会を契機にした障がい者スポーツへの関心の高まりを弾みにして、2028年に本県で開催予定の全国障害者スポーツ大会に向けた競技力の向上のため選手の発掘・育成・強化、指導者の確保などの取組を加速していく必要がある。

なお、公益財団法人として寄附税制上の優遇措置が講じられることから、引続き寄附者（賛助会員を含む。）の拡大などによる収入増に努める。

## 《事業の内容》

### I 協会の運営（事務局人件費、物件費計26,159千円）（県からの補助事業、一部自主財源）

#### 1 会議の開催等

- ・ 理事会 3回（開催時期 6月（決算等審議）、7月（役員改選）、令和5年3月（予算等審議））
- ・ 評議員会 2回（ " 6月（決算等審議）、令和5年3月（予算等審議））
- ・ 専門委員会 1回（ " 6月）  
部会としての「第27回全国障害者スポーツ大会選手・競技役員等育成専門部会」を数回開催。

（上記のほか必要に応じて臨時に開催します。）

#### 2 寄附者及び賛助会員の確保

新たな寄附者の開拓を図るため、企業等を訪問するほか、広く県民から賛助会員を募り、県民の障がい者スポーツに対する意識の高揚とスポーツの振興を図ります。

賛助会員の状況

区 分	現会員数（R4.2末現在）	令和4年度末見込会員数
賛助会員	個人 154人	160人
	団体 105団体	110団体

## II 事業の実施

### 1 各種大会の企画、運営

#### (1) 全国障害者スポーツ大会派遣事業 (14,692千円) (県からの受託事業)

##### ア 長野県選手団の派遣

令和4年10月29日～31日に栃木県で開催される第22回全国障害者スポーツ大会へ長野県選手団を派遣します。

- ・ 個人競技 (陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ)選手 38名
- ・ 団体競技 (令和4年度に北信越・東海ブロックの地区予選大会を経て出場の可否が決定)
- ・ 役員 34名+団体競技役員

##### イ 全国大会出場者の強化練習

第22回全国障害者スポーツ大会個人競技の出場選手を対象に、記録会及び強化練習を実施します。

- ・ 第1回 令和4年5月28日(土)、29日(日) 場所 サンアップル他
- ・ 第2回 令和4年10月8日(土)、9日(日) //

#### (2) 団体競技地区予選等派遣事業 (2,583千円) (県からの補助事業)

第22回全国障害者スポーツ大会等の地区予選会への選手、役員の派遣を支援(参加費補助)します。

- |                            |           |            |
|----------------------------|-----------|------------|
| ・ 車いすバスケットボール北信越・東海地区予選会   | (北信越・東海県) | (身体障害者)    |
| ・ フットベースボール北信越・東海地区予選会     | (北信越・東海県) | (知的障害者)    |
| ・ F I Dバスケットボール北信越・東海地区予選会 | (北信越・東海県) | (知的障害者)    |
| ・ バレーボール北信越・東海地区予選会        | (北信越・東海県) | (身体・精神障害者) |
| ・ サッカー北信越・東海地区予選会          | (北信越・東海県) | (知的障害者)    |
| ・ ろうあ者体育大会(野球競技)北信越地区予選会   | (北信越県)    | (聴覚障害者)    |

#### (3) 障がい者スポーツ大会の運営

県と共催で、第22回長野県障がい者スポーツ大会を、令和4年9月11日(日)から9月25日(日)にかけて松本市、長野市ほかで開催します。新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期す必要があることに加え、松本平広域公園陸上競技場の建替工事に伴い県内各地での分散開催となることから、安全に大会を開催できるよう開催の規模及び競技方法等についても検討します。

#### (4) 長野車いすマラソン大会運営事業 (20,602千円) (実行委からの受託事業、一部自主財源)

実行委員会(県、長野市、信毎、当協会等で構成)から受託し、第18回長野車いすマラソン大会を令和4年4月17日(日)に長野市で開催します。3年ぶりの開催となる本大会に向け、安全かつ楽しんでいただける大会となるよう準備を進めます。

- ・ 参加選手 40名(うち招待選手7名(過去大会の優秀成績選手等))
- ・ 競技以外の事業 フォトコンテスト  
学校や企業での車いすアスリート講演会  
大会ポスター等の制作・配布、ピンバッジ制作・販売

### 2 地域コーディネーター活動事業 (4,264千円) (県からの補助事業)

パラリンピックムーブメントを活用して、障がい者が地域の身近な場所で運動・スポーツに参加で

きる機会の拡大とスポーツを通じた共生社会づくりを強力に推進するため、地域のスポーツ団体等の相互連携の調整役を担う「地域コーディネーター」を配置（1名）します。

- ・障がい者に対する運動・スポーツの喚起（意義の発信）やスポーツに関する情報提供
- ・一般スポーツ団体等への受入れ働きかけ、相談、指導者紹介や地域の支援者ネットワークづくり
- ・みらいアスリートディレクターとの連携による、子どもたちが継続して競技に携われる支援

### 3 みらいアスリート育成支援事業（13,650千円）（県からの補助事業）

2028年に本県で開催予定の全国障害者スポーツ大会で本県選手が活躍できるよう、選手発掘及び競技力の向上が急務となっています。選手の競技力を向上させ、全国障害者スポーツ大会で好成績を残すためには、地域に埋もれている才能のあるアスリートの発掘・育成を行う必要があります。同時に、競技団体の活動強化、競技環境の整備を図っていく必要があります。

障がい者スポーツに精通した「みらいアスリートディレクター」（2名）を配置し、障がい者スポーツ地域コーディネーターと連携しながら、みらいアスリートの発掘、スポーツを継続するための支援、競技団体への支援を行います。

### 4 指導者養成研修事業（468千円）（県からの受託事業）

令和4年11月・12月（4日間予定）に初級障がい者スポーツ指導員養成研修会を開催します。

- ・開催場所 東信（東御市を予定）
- ・受講予定者数 30人

### 5 競技団体支援事業（5,364千円）（県からの補助事業、一部自主財源、特定費用準備資金）

#### （1）普及強化委員会

開催時期 6月24日（金）

#### （2）競技団体への助成

協会加入の30競技団体の選手育成強化等の事業へ助成し、活動を促進、支援します。

（助成対象事業）

- ・強化練習、選手派遣、用具整備、競技普及、指導者等養成、大会開催

### 6 パラアスリート育成支援事業（3,274千円）（県からの補助事業）

パラリンピックやデフリンピックの出場を目指す県内選手を育成するとともに、2028年に長野県で開催予定の全国障害者スポーツ大会に多くの県内選手が出場できるよう、有望選手の育成を行う競技団体に対して支援を行います。

### 7 地域スポーツ活動支援事業（1,500千円）（自主財源）

#### （1）キッズ支援事業

日頃スポーツをする機会が少ない障がいのある子どもたちを支援するため、スポーツを通じて心身の健康づくりと障がいの有無を越えて、同世代の子どもたちとの交流を図り、社会参加を促進します。

・スポーツキャンプ・スポーツわくわく体験会・ダンス教室・野球教室等の開催

**(2) 指導者派遣事業**

学校、施設、地域等の要望に応じて、障がい者スポーツ指導員を派遣し、障がい者、高齢者等の地域におけるスポーツ活動を通じた健康づくりを支援します。

**(3) スポーツ用具貸出事業**

障がいがある人もない人も、子どもも高齢者も簡単に楽しむことのできるニュースポーツ等の協会所有のスポーツ用具を貸し出します。

**(4) 連携協力協定**

平成19年(2007年)8月7日に締結した、清泉女学院大学・同短期大学との連携協定に基づき、ボランティア講座や体験会を行うとともに、計画的に活動への参加を進め、スポーツ、文化の幅広い分野で連携を深めます。

**8 アスリート講師派遣事業 (100千円) (自主財源)**

次の時代を担う小中学生等の障がい者及び障がい者スポーツへの理解を促進するため、障がいを持つアスリートを小中学校や企業等へ派遣し、講演会、交流会を開催します。

**9 トップアスリート支援事業 (200千円) (自主財源)**

パラリンピック大会等の国際大会を目指すトップアスリートを支援します。

支援金交付実績

平成26年度	該当者なし
27年度	個人 4名
28年度	個人 3名
29年度	個人 7名、1 団体
30年度	該当者なし
令和元年度	個人 1名
2年度	該当者なし
3年度	個人 5名

**10 情報発信、PR事業 (1,000千円) (自主財源)**

障がい者スポーツに関する各種の情報(スポーツの機会、大会情報、競技団体など)を提供します。

- ・ 会報誌の発行(年3回)
- ・ 協会ホームページの管理、更新

**11 協会表彰事業（200千円）（自主財源）**

県内の障がい者スポーツの振興に功績のあった個人及び団体を対象に、その功績を称え、表彰を行います。

令和4年度 収支予算書

(資金収支 収入の部)

(単位:千円)

大 科 目	中 科 目	予 算 額	前年度予 算額	比較増減	説 明
1 補助金 収入	事務局運営費県補助金	25,959	21,826	4,133	人件費 21,817 物件費 4,142
	団体競技地区予選等派遣事業県補助金	2,583	2,616	△ 33	
	競技団体強化支援事業県補助金	3,274	3,274	0	
	地域コーディネーター設置事業補助金	4,264	4,270	△ 6	
	みらいアスリート育成支援事業補助金	13,650	13,711	△ 61	
	パラアスリート育成支援事業費	3,274	3,274	0	
	計	53,004	48,971	4,033	
2 委託金 等収入	全国障害者スポーツ大会派遣事業県委託料	14,692	14,722	△ 30	令和4年度より委託事業
	指導者養成研修事業県委託料	468	1,000	△ 532	初級養成 468
	計	15,160	15,722	△ 562	
3 負担金 収入	負担金	440	430	10	県障がい者スポーツ指導者協議会150 加盟競技団体290
	負担金(車いすマラソン大会)	19,409	9,697	9,712	車いすマラソン実行委員会より負担金17,809 信濃毎日新聞社協賛金1,600 (繰越金975除く)
	計	19,849	10,127	9,722	
4 寄付金 収入	寄附金	1,600	1,800	△ 200	セイコーエプソンほか
	賛助会費	1,700	1,700	0	
	計	3,300	3,500	△ 200	
5 雑収入	雑収入	218	180	38	車いすマラソン参加料150 ピンバッジ売上80 その他8
	その他雑収益	50	50	0	
	計	268	230	38	
6 特定資産 取崩収入	競技力向上等事業準備積立金取崩	1,500	0	1,500	
	計	1,500	0	1,500	
収 入 合 計 (a)		93,081	78,550	14,531	

## (資金収支 支出の部)

(単位:千円)

大 科 目	中 科 目	予 算 額	前年度予 算額	比較増減	説 明	
経 常 的 支 出	1 事業費	全国障害者スポーツ大会派遣事業	14,692	14,722	△ 30	県委託料
		団体競技地区予選等派遣事業	2,583	2,616	△ 33	県補助金
		地域コーディネーター設置事業	4,264	4,270	△ 6	県補助金
		みらいアスリート育成支援事業	13,650	13,711	△ 61	県補助金
		指導者養成研修事業費	468	1,000	△ 532	県委託費
		競技団体支援事業費	5,364	4,000	1,364	補助金3274 自主財源300 負担金290 準備金1500
		トップアスリート支援事業	200	630	△ 430	有望選手を支援(自主財源)
		地域スポーツ活動支援事業	1,500	1,200	300	キッズ事業 指導者派遣 スポーツ用具貸出 自主財源
		アスリート講師派遣事業	100	94	6	自主財源
		情報発信・PR事業	1,000	1,000	0	自主財源
		協会表彰事業	200	130	70	自主財源
		パラアスリート育成支援事業	3,274	3,274	0	県補助金
		車いすマラソン大会事業	20,602	10,740	9,862	実行委員会負担金19,409 参加料150 グッズ売上60 その他 ※繰越金975含む
		計	67,897	57,387	10,510	
	2 管理費	事務局人件費	21,817	17,684	4,133	事務局長1、職員4、職員1(3箇月分)
事務局物件費		4,342	4,342	0	補助金 4,142 自主財源 200(負担金150 雑収益50)	
計		26,159	22,026	4,133		
合 計		94,056	79,413	14,643		
そ の 他 資 金 支 出	特定資産積立支出	退職給付引当資産取得支出	689	545	144	
		車いすマラソン積立資産積立支出	400	600	△ 200	
		競技力向上等事業準備資金積立支出	7,000	3,500	3,500	
	寄付金	寄付金	0	0	0	
	予備費	予備費	0	0	0	
合 計		8,089	4,645	3,444		
支 出 合 計 (b)		102,145	84,058	18,087		
当年度収支差額 A (a-b)		△ 9,064	△ 5,508	△ 3,556		